

潤滑油の3R取組事例データシート

タイトル	複写機における部品リユース活動およびリユース技術
3R分類	<input type="checkbox"/> リデュース <input checked="" type="checkbox"/> リユース <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル
効果	<input checked="" type="checkbox"/> 廃棄物削減 <input checked="" type="checkbox"/> 長寿命化 <input type="checkbox"/> 省エネ <input type="checkbox"/> 省燃費 <input type="checkbox"/> エネルギー回収 <input checked="" type="checkbox"/> その他（余寿命保証）
油種	グリース
出典	富士ゼロックス テクニカルレポート No.17 2007 p.53
内容	<p>複写機の市場の商品を回収し、リサイクルするシステムを構築、部品リユース設計と部品リユース技術が支えている。部品リユース設計では、長寿命設計/分離設計/冗長設計などの各設計法を開発し、「リサイクル設計ガイドライン」として標準化している。リユース技術は、回収した機械とその構成部品をリユース可能とする技術であり、余寿命保証技術、余寿命判定/選定技術、洗浄技術などの開発を進めている。</p> <p>例として、機内の温度上昇を防止するための換気用軸受ファンについて、ファンモーターのベアリングが寿命部品であり、メーカーの耐久試験結果から、ベアリングに充填されるグリースの量が、25%程度まで減少すると潤滑寿命ということが判明し、市場回収品を調査し、実際の稼働期間とグリースの残存量の関係を分析し、リユース可否の判断とした。</p>